

令和7年度 第1回 学校運営協議会

日時	令和7年6月5日（木） 18時30分～
場所	知念中学校図書館
出席者	委員（13名）： 宮城春明、運天貴也、岩井太史、島田泰史、山内鈴乃、屋我和枝、 屋比久進矢、菅海香子、吉田順太、前川真哉、津波善辰、内間晃、 浦崎政成 オブザーバー（3名）： 市教委 中上郁夫 コーディネーター：仲宗根みゆき、出口由香

会議の内容
<会順> (1) はじめのことば (2) 自己紹介 (3) 委嘱状交付 (4) 会長・副会長決め (4) 学校運営協議会の役割について (5) 地域協力体制と持続可能な地域づくり支援PJについて (6) 学校運営協議会年間計画について (7) 情報交換 (8) 会長あいさつ (9) 閉会のことば
<地域協力体制と持続可能な地域づくり支援PJについて主な意見> 1 令和8年度からの小中一貫教育に向けて、本年度も11月にスポーツ祭を予定している。総合的な学習の時間では、地域資源の活用を通して9カ年の学びにつなげていく。 2 総合の探求活動で、地域の課題に視点をあてて取り組んでいる。県外や外国から観光客が訪れるが、斎場御嶽について、南城市の人でも知らない人が多い。 3 地域には、資源、財産がある。住んでいる場所の良さを、保護者や地域の人を巻き込み、伝えていく。 4 Nバス（バスガイド、ミュージシャン）で、東御廻りが好評だった。 5 斎場御嶽だけでなく、小1は岬公園、小2は海野ハーリー、小3は志喜屋の行事等、小1から中3までの9カ年のカリキュラムをつくっていく。 6 ブランド化していく。

令和7年度 第1回 学校運営協議会

- 7 民宿から知名のコンビニまで歩いていく観光客がいる。買い物ができる店が少ない、遠いといった知念地域の課題があり、子ども達と考えていきたい。
- 8 他校では、PBL 学習で、観光協会が入って学習を深めている事例がある。商品開発まですることができて、学ぶことが楽しいにつなげる事ができた。
- 9 定置網体験を、保護者の協力を得て進めることができた。

<情報交換>

- 1 水曜日の体育館施設の開放について、生涯学習課社会体育係に連絡
- 2 知念未来塾(家庭教育支援型・公設民営塾)開設の目的、相乗効果について

<決定事項など>

- ・会長・運天貴也 副会長・岩井太史
- ・持続可能な地域づくり支援PJを活用して、学校だけでなく、保護者や地域の人を巻き込みながら進めていく。



【配布資料】	南城市のコミュニティ・スクールについて 2025 年号 2 月号(南城市広報誌) 特集コミュニティ・スクール 南城市学校運営協議会規則 南城市学校運営協議会運営要領 (名称) 知念小中学校プロジェクトのご案内 令和7年度知念小中学校運営協議会年間計画(案)
次回開催予定	令和7年8月29日(金) 18時30分～